

令和3年度 事業報告

【当協会を取り巻く状況】

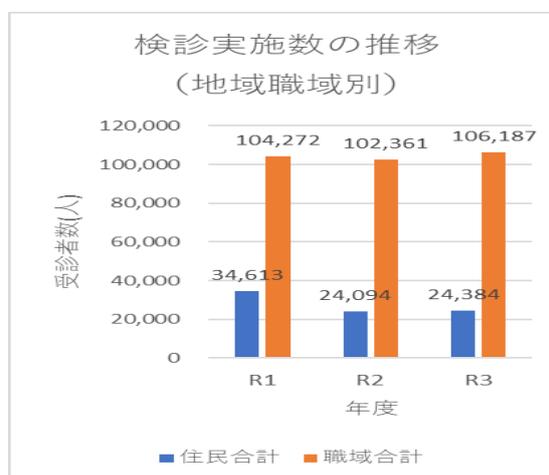
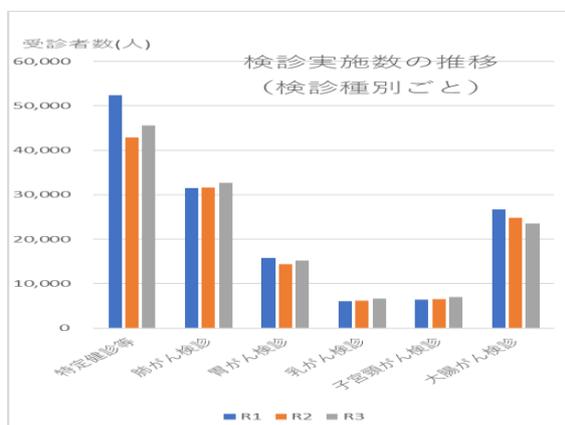
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、検診事業についてもさまざまな影響がみられ、マスコミなどでも報じられました。厚生労働省のがん対策推進協議会では「第3期がん対策推進基本計画の進捗状況の中間評価」について新型コロナの流行を受けて議論に遅れが生じたものの大筋で了承し、この中でがん検診受診率について、上昇傾向にあるものの「多くの領域で目標を達成できていない」とし、引き続き年齢調整死亡率の減少とがん検診受診率の向上のための対策を検討する必要があると結論付けました。

コロナ禍におけるがん検診の受診状況の変化については、さまざまな報告がありますが、日本対がん協会の支部を対象にした最新の調査によると、令和3年度の胃、肺、大腸、乳、子宮頸の5つのがん検診受診者数は、延べ537万6513人で、2年の435万4352人から23.5%増加したものの、コロナ禍前の元年（599万4398人）と比べると10.3%減少しており、受診控えの状況が続いていると推測されています。

がん検診・がん診療受診者数減少の要因については、国立がん研究センター 高橋宏和氏らの研究班の調査で、①緊急事態宣言に伴う政府や専門学会の通知 ②がん検診実施者（市区町村・保険者・事業主）による実施延期・中止 ③感染の恐れによる受診控え ④がん検診実施機関・医療機関のキャパシティー減少など、受け入れ側についてもコロナ対応で困難な状況にあったことが判明しています。

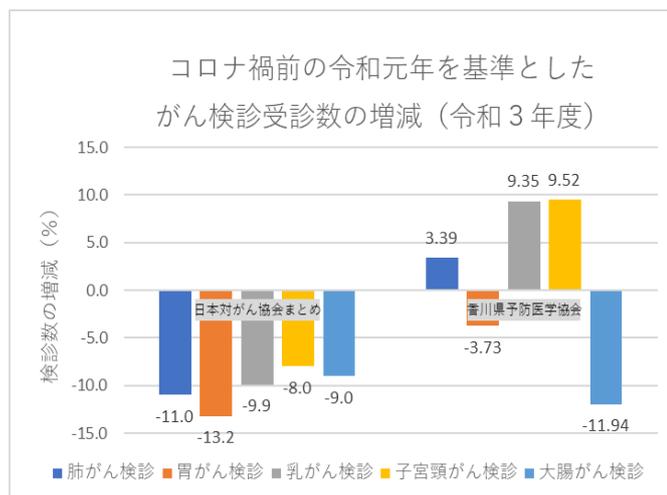
【当協会における検診実施状況】

当協会が実施する健康診断およびがん検診は、職域が全体の約75%を占めています。コロナ禍により、受診控えが社会問題になっていることから、当協会の検診実施状況について、コロナ禍前の令和元年からの推移をみてみました。住民検診では元年に比べ約1万人の減少がみられましたが、職域では大きな減少はみられていません。



一方、検診種別ごとでは、特定健診や大腸がん検診で減少傾向がみられました。この要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がきっかけとなり、巡回健診から個別検診に移行したため受託から外れたことが要因となっていました。

当協会のがん検診数の増減について、日本対がん協会のデータと比較しました。日本対がん協会ではいずれのがん検診も減少していますが、当協会では、胃・大腸がん検診を除き増加しています。この要因として、日本対がん協会の検診では、住民検診や巡回検診を主体にしているのに対し、当協会は、職域検診や施設検診を主体に実施していることから、コロナの影響が比較的少なかったものと推測しています。



当協会は、令和3年度（コロナ禍の不確実で状況が見通せない状況の中）においても、目の前の状況に向き合い、正しい情報のもと、今できる最大限の努力を払うことで、基本方針の「学校や地域・職域の健康診断および特定保健指導を通して、生活習慣病やがんの予防、禁煙や生活習慣の改善による健康づくりを推進し、県民の心とからだの健康の保持及び増進と健康な生活の実現」に向けた事業を推進いたしました。

公益事業1：心とからだの健康保持及び増進事業

1 普及啓発活動

<県民に向けた情報発信>

県民への普及啓発活動について、昨年度に引き続き、顧客である市町や企業の健診担当者に向けて、検診の必要性を訴えるとともに、受診方法の改善や検診日程の調整などにより、利便性の高い、安心・安全な健診を受診者に提供することで県民の健康保持及び増進につなげました。

<県・市町・企業・各種団体との連携による啓発活動>

当協会は、生活習慣病やがんの予防に関する啓発活動・調査研究事業に取り組む民間機関として、県・市町・企業、香川タバコの害から健康を守る会・ピンクリボンかがわ県協議会・がん患者ネットワーク香川、各種団体などと連携することで、より効果的な啓発活動を展開し、以下の普及啓発に取り組みました。

(1) 禁煙・受動喫煙防止に関する普及啓発活動

① 禁煙・受動喫煙防止出前講座の開催

昨年度に引き続き、県内の小中学校及び職域に対し、禁煙・受動喫煙防止セミナーの実施に協力しました。

喫煙・受動喫煙防止出前講座の実施状況

日時	場所	対象	講師	事業主体
5月14日(金)	小豆島シーサイドホテル松風	女性部役員 20人	森田医師	小豆島法人会
6月16日(水)	高松市立鬼無小学校	6年生 50人	佐藤薬剤師	高松市教育委員会
6月17日(木)	川崎重工業(株)坂出造船工場	従業員 30人	森田医師	川崎重工
9月2日(木)	まんのう町役場本庁大会議室	地区組織代表・事業所 50人	森田医師	まんのう町
9月9日(木)	ホテルマリンパレスさぬき (オンライン)	組合員 30人	森田医師	香川県市町村職員 共済組合
10月13日(水)	NTT 香川支店ビル大会議室	社員 25人	森田医師	高松市
10月29日(水)	三溪小学校	6年生 82人	森田薬剤師	予防医学協会
11月1日(月)	高松第一小学校	6年生 117人、教員 4人	木村薬剤師	高松市教育委員会
11月12日(金)	紫雲中学校	1年生 190人、教員 11人	樋口薬剤師	高松市教育委員会
11月15日(月)	木太中学校	全校生 747人	元木薬剤師	高松市教育委員会
12月8日(水)	大豊産業株式会社	社員 30人	森田医師	高松市
11月25日収録	太田小学校(ビデオ)	6年生 125人	岡田薬剤師	予防医学協会
3月9日(木)	川東小学校	6年生 44人	松尾薬剤師	高松市教育委員会

② 禁煙作品コンテストの開催

当協会に事務局を置く「香川・タバコの害から健康を守る会」と共催し、県内小・中学生を対象に「禁煙作品コンテスト」を行いました。

応募作品は149点あり、ポスター部門、キャラクター部門、標語部門の3部門についてそれぞれ最優秀賞、優秀賞、入選を選出しました。表彰は、各学校に出向き校長室に於いて実施し、各学校においては、終業式等で校長先生より受賞披露を行いました。

受賞作品は、四国新聞健康新聞(6月6日付)に「世界禁煙デー香川フォーラム2021」の特集記事に掲載したほか、受賞作品のカレンダーを作成して県内小中学校及び市町に配布しました。

③ 企業への禁煙支援活動

喫煙防止出前講座の実施企業のうち、1社に対して禁煙希望者に向けた禁煙支援活動を開始し、実施者3名のうち、1名が禁煙に成功しました。禁煙成功者には当協会顧問で香川・タバコの害から健康を守る会 会長の森田医師より卒煙証書を授与、企業からは達成賞としてクオカードが贈呈されました。企業の喫煙防止対策の新たな取り組みとして成果を上げました。

(2) 女性特有のがん（乳がん・子宮がん）に関する啓発活動

当協会は、乳がん及び子宮頸がん検診が同時に受診できる県内でも数少ない検診機関であることから、乳がん・子宮がんセット検診（レディース検診）により利便性の高い検診の実施に努めるとともに啓発資材の配布を行いました。

(3) 乳がんに関する普及啓発活動

① ピンクリボン 2021 ポスターデザインコンテスト

当協会に事務局を置く「ピンクリボンかがわ県協議会」と協働して、昨年につき「ピンクリボン 2021 ポスターデザインコンテスト」を開催しました。今年度は、10月19日にイオンモール高松で授賞式及び応募作品の展示を行い、表彰式では、県医師会会長でピンクリボンかがわ県協議会の久米川 啓代表をはじめ、特別協力いただいた企業・団体の代表者がそれぞれの視点で選んだ受賞作品10点のプレゼンターとなり、ピンクリボン運動を通して啓発活動の輪を広げました。表彰式では高松市薬剤師会や国際ソロプチミスト高松、高松西ライオンズクラブ、当協会がスタッフとして関り、買い物客らに披露することができました。

② ピンクリボンライトアップ（期間：10月1日～10月31日）

昨年引き続き、丸亀町壱番街三町ドームのピンクリボンライトアップ及び丸亀町商店街のパナー掲示を行いました。

これら10月のピンクリボンイベントについては11月3日の四国新聞紙面で紹介され、ライトアップや受賞作品を通して、乳がんで苦しむ人をなくすピンクリボン運動の大切さや乳がん検診の重要性を広く県民に知っていただくことができました。

③ 乳がん検診実施状況調査・かがわマンモグラフィサンデーへの参加

県内の乳がん検診実施機関及び市町に対し、今年7月に実施したアンケート調査による受診者向けの「乳がん検診・精密検査実施医療機関一覧」を制作し、関係機関に配布しました。このほか当協会は、香川県が進める「かがわマンモグラフィサンデー」に検診機関として参加し、受診率向上や受診しやすい環境づくりを推進しました。

④ 街角リボンサロン WEB セミナーへの開催協力

ピンクリボンかがわ県協議会が正力厚生会の助成金により実施する「街角リボンサロン WEB セミナー」の開催を実質的に運営支援しました。また、講演終了後は患者同士や講師との交流に参加しました。

街角リボンサロン WEB セミナーの開催状況

日時	内容	会場	講師
4月11日	第6回「“つらい気持ち”の取り扱い方」	情報交流館 e-とびあ・かがわ	島津昌代氏（高松赤十字病院臨床心理士）

5月9日	第7回「鏡でレッスン！セルフケアでリラックス」	〃	橋詰静代氏（ソシオエステティシャン）
6月6日	第8回「ソシオエステティック 自分らしくがんと共に・・・」	オンライン	森本裕子氏（ソシオエステティシャン・社会福祉士）
7月4日	第9回「患者さんに寄り添う支援～医療ソーシャルワーカーとしてできること～」	〃	和田有加氏（屋島総合病院MSW、香川県MSW会長）
8月1日	第10回「どこまで伝えますか？どこまで知りたいですか？」	〃	太宰牧子氏（特定非営利活動法人クラヴィスアルクス理事長）
8月29日	第11回「ピアサポーターへの想い」	〃	細岡和美氏（乳がん体験者コーディネーター）
9月26日	第12回「がん患者からピアサポーターになって見え方が変わった『生老病死』」	〃	蔵谷弘子氏（医療法人然みのりクリニック院長）
10月24日	第13回「がん患者からピアサポーターへ～がん体験が教えてくれたこと～」	〃	高橋修子氏（石巻赤十字病院プレストセンターがんピアサポーター）

(2) がん患者会ネットワークかがわへの協力

当協会は「がん患者会ネットワークかがわ」の事務局として、がん患者会ネットワークかがわを支援し、今年度は、正力厚生会の助成金を受けたホームページの立ち上げを行い、国や県が進める「がんになっても自分らしく暮らせる世の中の実現」の一助としました。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、昨年度に引き続き、危機管理体制の強化とともに、感染予防のための予約管理システムの構築や職員への感染予防教育、感染防止シートの設置や防護ガウン、フェイスシールド、手袋を着用し健診業務を行うなど感染予防対策に努めました。また、受診者をはじめとする来場者への検温やアルコールによる手指消毒、換気の徹底を図りました。

(4) 職域を対象にした働く人への普及啓発活動

当協会が実施する各種健康診断・各種がん検診（延べ約14万5千件）の約75%を占める職域健診受診者に対し、メタボリックシンドローム啓発ティッシュやリーフレットの配布を行ったほか、企業や団体等に向けてポスターや冊子「読むサプリ」などを配布しました。

2 調査研究事業について

(1) データ収集・精度管理事業を通じた情報発信

がんや生活習慣病の予防、メンタルヘルスについては、特に働く人々への対策が重要視されていますが、職域健診の受診状況は未だに十分把握されていないのが実情であることから、当協会が実施する約10万6千件（がん検診は延べ6万7千件）に上る職域健診の健診結果や保健指導結果について情報収集し、把握に努めました。

また、がん検診については、精度管理が最も重要であることから、当協会のデータ管

理システムを用いて、実施主体や医療機関との連携により精密検査結果の把握を推進するとともに、必要に応じて要精検者の追跡調査などの各種精度管理事業を行い、調査結果を実施主体など関係機関にフィードバックしました。

このほか、令和3年度は、特定健診・定期健診など45,623件、特定保健指導（動機づけ支援246件、積極的支援154件）を実施しました。また、肺がん検診32,639件、胃がん検診15,163件、乳がん検診6,620件、子宮頸がん検診6,961件、前立腺検診3,996件、大腸がん検診23,565件、学校心電図検査（標準12誘導）10,375件を実施しました。これにより各検診・検査データ約145,000件を収集しました。

企業におけるがん対策は、まず、がんという病気を会社全体で正しく知ることが重要で、がん検診の受診率を上げて早期発見することで、従業員も企業にとっても、がんになっても働くことができる職場環境の実現が可能になります。このためには健康診断結果管理や分析をもとに従業員の健康管理や精度管理を実施することが重要ですが、自治体や企業など従業員数の多い実施主体においては、多項目にわたる健診結果を経年的に管理し、従業員一人一人の健康管理に役立てることは容易ではありません。このため当協会では、独自ソフト「健診データ簡易検索システム」を開発して、自治体や企業などに提供しており、引き続き本ソフトの普及促進と改修を図ってまいります。

また、機器類の整備については、画像サーバー容量の拡張を行うとともに、検体検査システムのバージョンアップ、血液・大腸がん検体検査装置、超音波検査装置を最新機器に更新し、検査精度の維持向上や健診業務の効率化、顧客サービスの向上に対応しました。

(2) 「令和2年度事業報告書」の刊行

当協会の令和2年度事業報告書をまとめ関係機関に配布しました。この報告書は当協会が実施した新生児から後期高齢者までの約145,000件の多岐にわたる検査項目を集計し結果を掲載したもので、県内の関係機関や県民の方々に報告書を通して情報発信するとともに関係機関との連携を深めました。

(3) 「第6回香川県予防医学協会研究会」の開催（中止）

各種検診の多様化・高度化への対応、症例検討など検診情報の有効利用、職員の知識向上や情報共有を目的として研究会を実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため令和3年度の開催についても昨年に続き中止となりました。

(4) 各種学会・研究会等への参加

昨年に引き続き、関係する学会・研修会等に積極的に職員を参加させ、職員の資質向上と医療技術への貢献に努めました。

	実施日	研修会等の名称	開催地 (場所)	部署
1	4月1日	第2回 四国胃X線研究会	web	放射線科

2	毎月第一木曜日	胃透視の小部屋	web	放射線科
3	4月10日	オリーブ会	web	放射線科
4	4月22日～毎月	画像検査科カンファレンス	施設内	放射線科 臨床検査科
6	4月22日～25日	第73回日本産婦人科医学会総会	web	医師
7	4月22日	コロナ禍における内視鏡診療	web	施設健診科
8	定期開催	尿沈渣精度研究会オンライン講義・実習	web	臨床検査科
9	不定期開催	e. SONIMAGE 超音波診断	web	臨床検査科
10	5月14日～16日	第101回日本消化器内視鏡学会総会	広島市・Web	医師
11	5月24～30日	ユーエスワールド 腹部エコー臨床&ライブ	web	臨床検査科
12	6月4日～6日	第60回 日本消化器がん検診学会総会	web	放射線科
13	7月1日～8月31日	第20回 胃X線検査を楽しく学ぶ会	web	放射線科
14	7月2日～	富士フィルム社製内視鏡取扱	web	施設健診科
15	7月18日	JSS九州 第31回地方研修会	web	臨床検査科
16	9月10日～24日	第62回 日本人間ドック学会学術総会	web	医師 放射線科 保健指導科 臨床検査科 施設健診科
17	9月10日～24日	2021年度優良施設認定基準研修会	web	放射線科 臨床検査科 施設健診科
18	10月3日	第80回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会	web	放射線科
19	10月10日	第31回四国地方会学術集会	web	臨床検査科
20	10月10日	2021年度第8回必修講習会	高知市	臨床検査科
21	11月4日	令和3年度保健指導実践者等スキルアップ研修会	web	保健指導科
22	11月4日～7日	JDDW2021	神戸市・Web	医師
23	11月27日～28日	第52回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会	松山赤十字病院	放射線科
24	12月10日～24日	第31回 日本乳癌検診学会学術総会	web	放射線科

25	12月21日～23日	第80回日本公衆衛生学会総会	東京・Web	医師
26	1月18日・25日	フジフィルムヘルスケア webinar fridays	web	放射線科
27	1月20日	香川県放射線技師会 消化管部会	web	放射線科
28	1月26日～28日	第32回日本疫学会学術総会	web	医師
29	1月28日～29日	第50回日本総合健診医学会総会	web	医師
30	2月17日～28日	第55回全国予防医学技術研究会	web	臨床検査科 施設健診科
31	2月22日～3月2日	第30回 乳癌画像研究会	web	放射線科
32	3月3日～5日	第27回日本災害医学会総会・学術集会	web	医師
33	3月20日	第181回 マンモグラフィ技術更新講習会	web	放射線科

(5) 学会発表など

昨年に引き続き、当協会が収集したデータをもとに学術研究を行い、その成果を関係する学会・研究会等の症例検討や研究論文等に発表し、医療技術の向上や地域社会への貢献に役立てました。

	実施日	学会名	演題名	発表者
1	9月10日 ～24日	第62回 日本人間ドック学会学術総会	胃X線検査でのピロリ菌判定の試案作成とその運用の成果	松井真澄 (共著)
2	8月5日	第12回 胃透視の小部屋	症例検討	松井真澄
3	3月3日	第19回 胃透視の小部屋	症例検討	松井真澄

公益事業2：新生児の先天性代謝異常等の早期発見に必要な各種検査事業

1 先天性代謝異常等検査

当協会は県内唯一の新生児先天性代謝異常の検査機関として、香川県をはじめ県下医療機関の協力のもと令和3年度は全20疾患の検査を実施し、7,070件の受託検査を実施いたしました。また、検査の結果、疑陽性には再検査を行うなど検査精度を高めているほか、要精密検査者については緊急性を考慮し、医療機関への結果報告を迅速かつ確実に実施しています。また精密検査結果についても医療機関に追跡調査を行い、令和2年度分の精密検査者の追跡調査により、先天性副腎過形成症1人、クレチン症5人が発見されました。

今後も検査精度の維持向上に努め、先天性代謝異常症等の疾患の早期発見による早期治療につなげてまいります。